



ハムスターはお風呂に入れていいの

入れてはいけない

野生動物は、お風呂に入る習慣はありません。さかんに、手や足で体をぬぐうような動作をしていますね。これは毛づくろいといって、体を清潔に保つ動作です。これで十分なのです。お風呂に入れることは、ハムスターにとってみれば、とてもいやなことのはずです。石けんをつけるなどは、もってのほかです。毛の脂肪分までとれてしまいます。

広い場所で、自由に走りまわらせておけば、たいていのよごれは自分でとってしまいます。「どうしても」という場合は、しめったティッシュでふいてやればよいでしょう。

ハムスターはきれいずき

ハムスターが自分のふんで、体がよごれているというのは自然ではありません。自然なかでは、ハムスターはとても大きな巣穴をほり、ふん場、えさ場、子育て場などに分かれています。しかし、せまい場所で飼われると、どうしてもよごしてしまいます。人間の都合で、せまいところにおしこめておくのですから、せめて、しきわらをひんぱんに取り替えてやりましょう。

野生動物の清潔を保つ方法

野生動物は体につく寄生虫をふせぐため、水あび、砂あび、どろあびをします。野生状態でその動物がやっている方法に近い形で、できる環境を作るのがいちばんです。人間と同じように考えてはいけません。（監修・今泉 忠明）

